

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 24 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	移動通信用鉄塔施設整備事業							
担当課係名	総合情報センター	課	施設	係	作成者 林崎文男			
総合計画での位置づけ	施策の大綱	共に参加し行動する市民協働のまち			総合計画のページ 102			
	基本計画	携帯電話不感地域解消の整備						
	主要施策	情報通信基盤の整備						
予算費目	一般	会計	2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 24 年度			新規/継続の区分		継続		
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理							
根拠法令等								
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務							
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	携帯電話不感地域に対し移動通信用鉄塔施設を整備する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	移動通信用鉄塔施設を整備し携帯電話不感地域を解消し、安心な暮らしをする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	移動通信用鉄塔施設を建築し、通信事業者に携帯電話不感地帯を解消しサービスさせる。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	23年度実績	24年度実績	
効果	活動指標	設備整備地域数（地域）	目標	地域	2	
			実績	地域	2	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	設備整備率（%）	目標	%	100.00	
			実績	%	100.00	
達成度			%	100.0%		
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				41,909	
	人 件 費 (B)		—		6,629	
	職 員 数		—		0.80	
	職員平均人件費		—		8,286	
	(A) + (B) 投下コスト		—		48,538	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				27,939
		県 支 出 金				2,793
		地 方 債				8,100
		そ の 他				1,597
		一 般 財 源				8,109
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		24,269,000
		市民1人当たりのコスト(円)		—		1,651

【事務事業の今までの成果】

居住地域において携帯電話不感地域は解消される。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	さらなる不感解消地域を検討する。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	事業終了後苦情、要望なし。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
E	A 現状のまま継続（実施）	居住地域において携帯電話不感地帯解消されたことから事業終了。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
E	仙北市内の居住区域における携帯電話不感地帯は解消されてことから、事業終了。

